

### Ⅲ 報道発表資料

## 「金融機関利用に関する意識調査」 結果の概要

(平成 12 年 4 月 11 日)



平成12年4月11日  
郵政省 郵政研究所

## ATM・CDがあつたらいいと思う場所はコンビニ

—『金融機関利用に関する意識調査(平成11年度)』結果—

郵政省 郵政研究所は社団法人 新情報センターに委託して、『金融機関利用に関する意識調査(平成11年度)』を実施しました。全国4,500世帯を対象とするアンケート調査の結果、

- ・ATM・CDがあつたらいいと思う場所はコンビニエンスストア、スーパー・ディスカウントストア
- ・金融機関店舗以外での場所で利用したい取引手段としてはパソコン(インターネット)、電話であることなどが明らかとなりました。

郵政省 郵政研究所は、本日、社団法人 新情報センターに委託して実施した『金融機関利用に関する意識調査(平成11年度)』の結果の概要を取りまとめました。この調査は、金融システム改革の進展に伴って業態内外の競争が激しくなり、一部の金融機関の経営が破綻するという現実を前にして、家計がどの金融機関・金融サービスをどのような判断基準で利用しているのかを明らかにするとともに、家計の金融機関・金融サービスに対するニーズを把握することを目的としています。

なお、この調査は平成元(1989)年以降2年ごとに実施しており、平成11(1999)年実施の今回は第6回目にあたります。

### 家計の金融機関店舗利用動向

○金融機関を選択する理由:家計が金融機関を選択する理由としては、「自宅や勤務先等に近いから(92.0%)」が最も高く、次いで「名の通った金融機関で信頼が高いから(29.3%)」、「外務員が訪問してくれるから(28.3%)」の順となっている。これを前回までの調査と比較すると、「名の通った金融機関で信頼が高いから」の増加幅が大きくなっている。

○最も多く利用している金融機関:最も多く利用している金融機関としては、「地方銀行・第二地方銀行(36.0%)」、「都市銀行(22.7%)」、「信用金庫・信用組合・労働金庫(17.2%)」の順となっている。前回調査との比較ではこれらの金融機関の順位に変化はみられない。

○ATM・CDに関する要望:ATM・CDがあつたらよと思う場所は「コンビニエンスストア(41.8%)」、「スーパー・ディスカウントストア(25.4%)」、「駅・空港等交通施設(22.8%)」の順となっている。ATM・CDに関する要望としては、「時間外手数料を安くしてほしい(54.5%)」、「他の機関で利用するときの手数料を安くしてほしい(47.5%)」が高く、利用手数料に関する要望が多くなっている。

## 家計の金融サービス利用動向

○決済と貯蓄取引別にみる利用金融機関: 決済口座(公共料金、クレジットカードなどの自動引落し口座、給与・年金の受取口座)としての利用が多い金融機関は「地方銀行・第二地方銀行(39.5%)」、「都市銀行(26.0%)」、「信用金庫・信用組合・労働金庫(16.4%)」の順となっている。預貯金額の多い金融機関としては「地方銀行・第二地方銀行(28.4%)」、「郵便局(26.6%)」、「都市銀行(18.8%)」となっている。

## これからの金融取引

○店舗外での金融サービス利用意向: 金融機関の店舗以外の場所で金融取引を行う場合に利用したい手段としては、「パソコン(インターネットを含む)(60.1%)」、「加入電話(57.7%)」、「FAX(31.4%)」、「携帯電話(25.1%)」となっており、「携帯電話」が新たな手段として注目されているほか、前回までの調査との比較では「パソコン(インターネット)」の割合が大きく上昇している。

○金融機関から教えてほしい情報: 金融機関から教えてほしい情報としては、「資金の有利な運用について(32.6%)」が最も高く、次いで「金融商品の特徴や種類について(25.4%)」、「税金について(24.9%)」の順となっている。一方、「特になし」とする割合も 39.7%と高くなっている。前回までの調査との比較では、概ね各項目で回答割合が増加している。

### <参考> 調査の概要

- 1 調査地域  
全国
- 2 調査対象(標本数)  
世帯人員2人以上の世帯(世帯数:4,500)
- 3 調査時期  
平成11(1999)年11月下旬~12月上旬
- 4 回収数(回収率)  
3,267 サンプル(72.6%)
- 5 調査実施機関  
社団法人 新情報センター

連絡先: 郵政研究所 第二経営経済研究部  
(担当:丸山 主任研究官)  
電話:03-3224-7332

## 「金融機関利用に関する意識調査」結果概要

### 1. 調査概要

郵政省郵政研究所は、本日、社団法人 新情報センターに委託して実施した『金融機関利用に関する意識調査(平成11年度)』の結果の概要を取りまとめました。この調査は、金融システム改革の進展に伴って業態内外の競争が激しくなり、一部の金融機関の経営が破綻するという現実を前にして、家計がどの金融機関・金融サービスをどのような判断基準で利用しているのかを明らかにするとともに、家計の金融機関・金融サービスに対するニーズを把握することを目的としています。

この調査は平成元(1989)年以降2年ごとに実施しており、平成11(1999)年実施の今回は第6回目にあたります。

### 2. 調査設計

#### (1) 調査地域

全国

#### (2) 調査対象(標本数)

世帯人員2人以上の世帯(4,500)

#### (3) 調査時期

平成11(1999)年11月下旬～12月上旬

#### (4) 実施機関

社団法人 新情報センター

### 3. 回収結果

#### 回収数(回収率)

3,267 サンプル(72.6%)

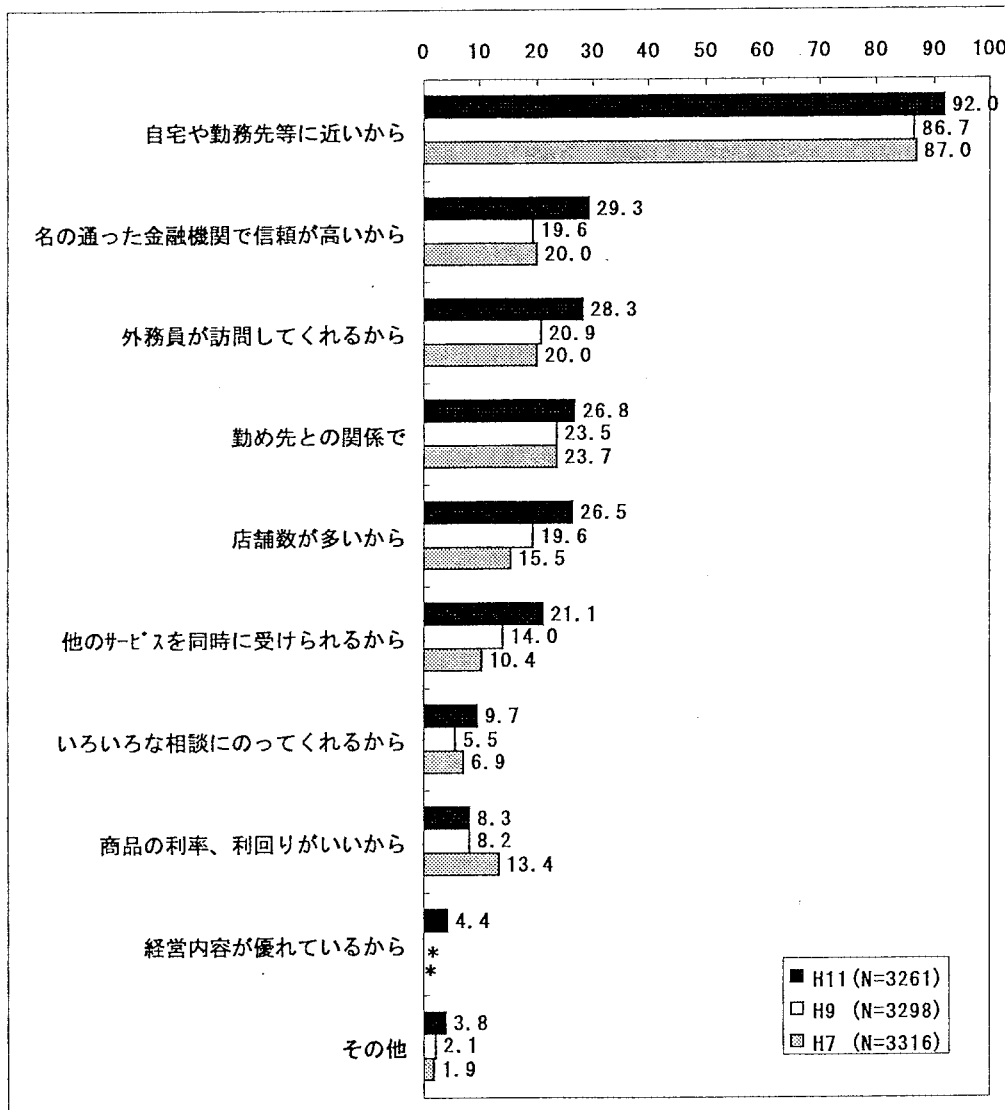
# I 家計の金融機関店舗利用動向

## 1 金融機関を選択する理由

家計が現在取引している金融機関を選択した理由は、「自宅や勤務先その他よく行く場所に近いから(92.0%)」、「名の通った金融機関で信頼が高いから(29.3%)」、「外務員が訪問してくれるから(28.3%)」の割合が高くなっている。

これを前回までの調査と比較すると、前回の調査以降、金融機関の経営破綻が相次いだこともあり「名の通った金融機関で信頼が高いから」とする割合が増加している。一方、今回初めて調査した「経営内容が優れているから」は 4.4%にとどまり、「商品の利率、利回りがいいから」は依然として低い回答割合(8.3%)となっている。

金融機関の選択理由(複数回答)



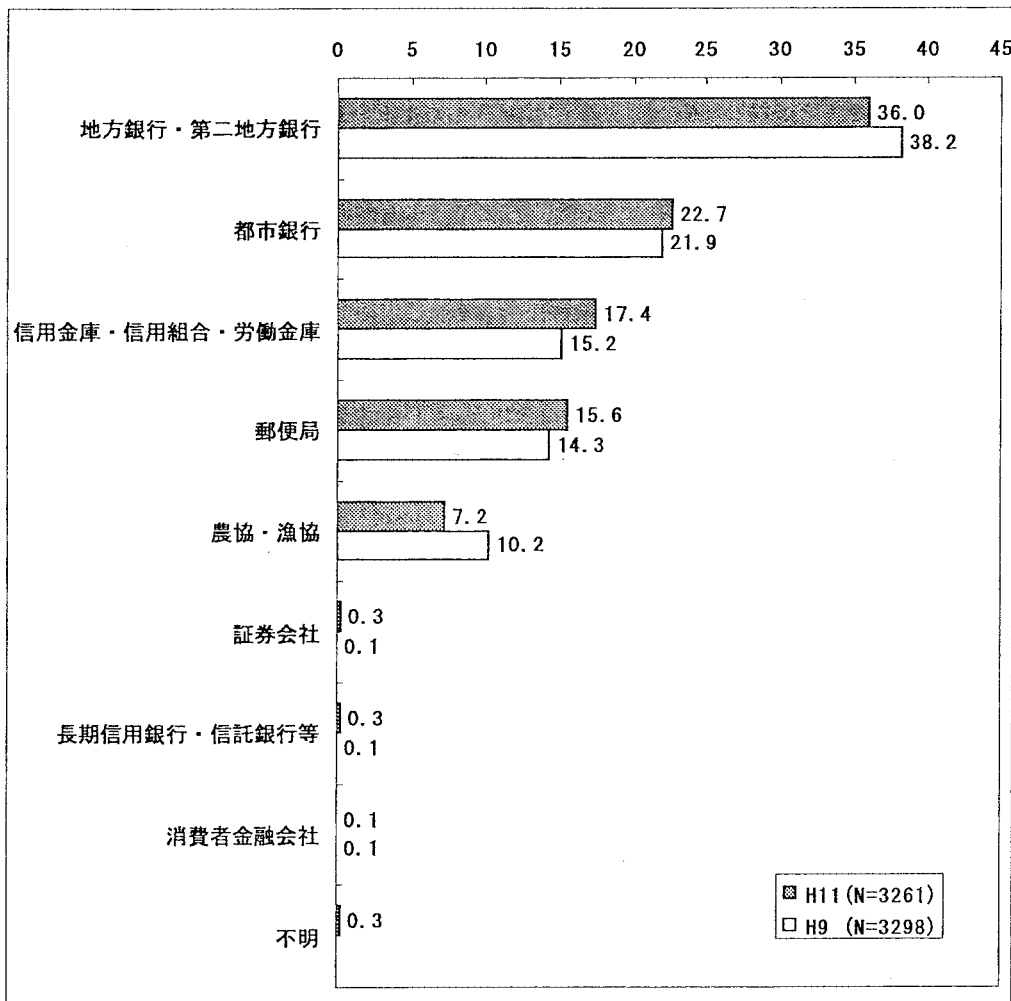
(注) \*は調査していないもの

## 2 最も多く利用している金融機関

家計が現在取引している金融機関のうち、ATM・CD を利用する、支店の窓口へ行く、外務員からの訪問を受ける、電話やインターネットでやり取りをするなど、取引のために日ごろ接触する頻度が最も多い金融機関としては、「地方銀行・第二地方銀行(36.0%)」の回答割合が最も高い。次いで、「都市銀行(22.7%)」、「信用金庫・信用組合・労働金庫(17.4%)」の順となっている。

これを前回調査(平成9年度)と比較すると、金融機関の間で順位の変動はみられないが、「地方銀行・第二地方銀行」及び「農協・漁協」の回答割合は2年前より減少している。

最も多く利用している金融機関(単回答)



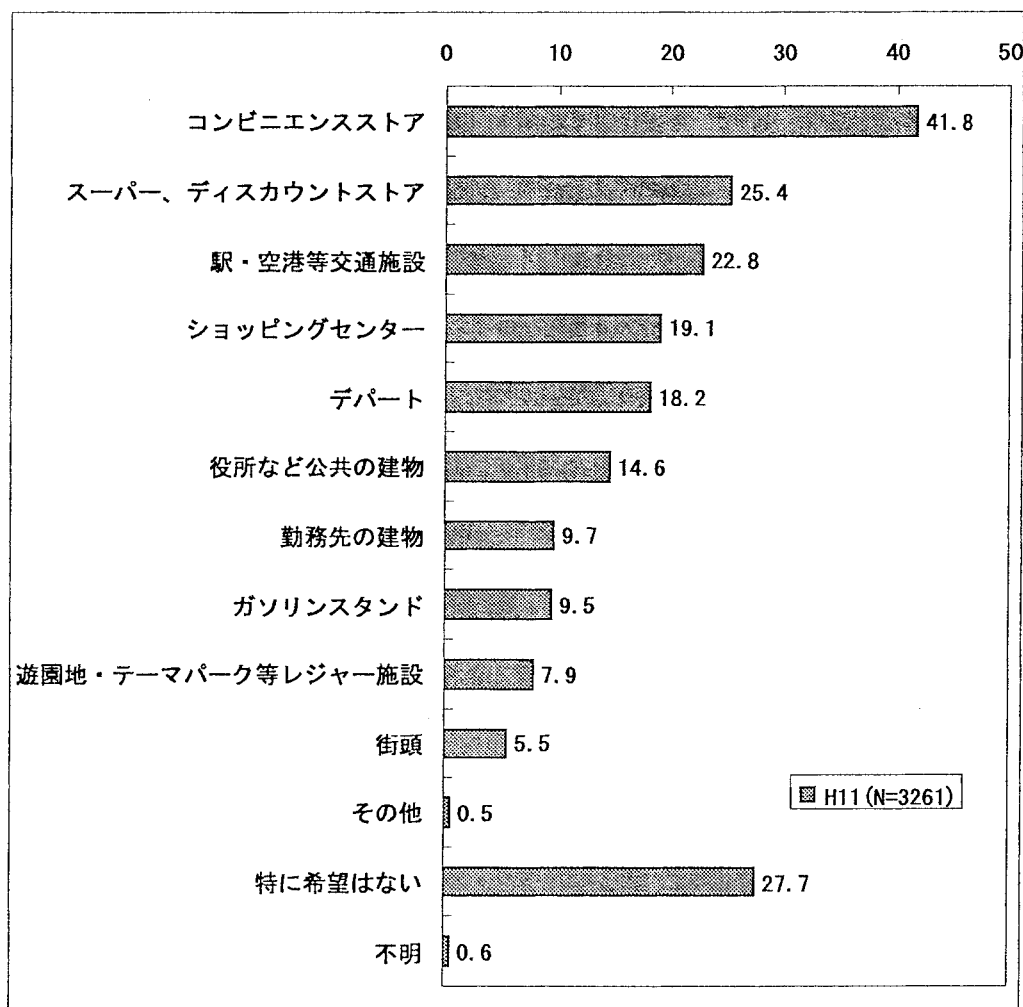
(注)平成9年度調査における「地方銀行・第二地方銀行」は「地方銀行(34.7%)」、「第二地方銀行(3.5%)」の合計

### 3 ATM・CDがあつたらいいと思う場所

ATM・CDがあつたらいいと思う場所は、「コンビニエンスストア(41.8%)」の割合が最も高く、次いで「スーパー、ディスカウントストア(25.4%)」、「駅・空港等交通施設(22.8%)」、「ショッピングセンター(19.1%)」の順となっている。

コンビニエンスストア、スーパーなど日常買い物をするところにATM・CDを設置してほしいとする要望が強い。

ATM・CDがあつたらいいと思う場所(複数回答)



(注)回答者1人あたり3つまで回答したもの。

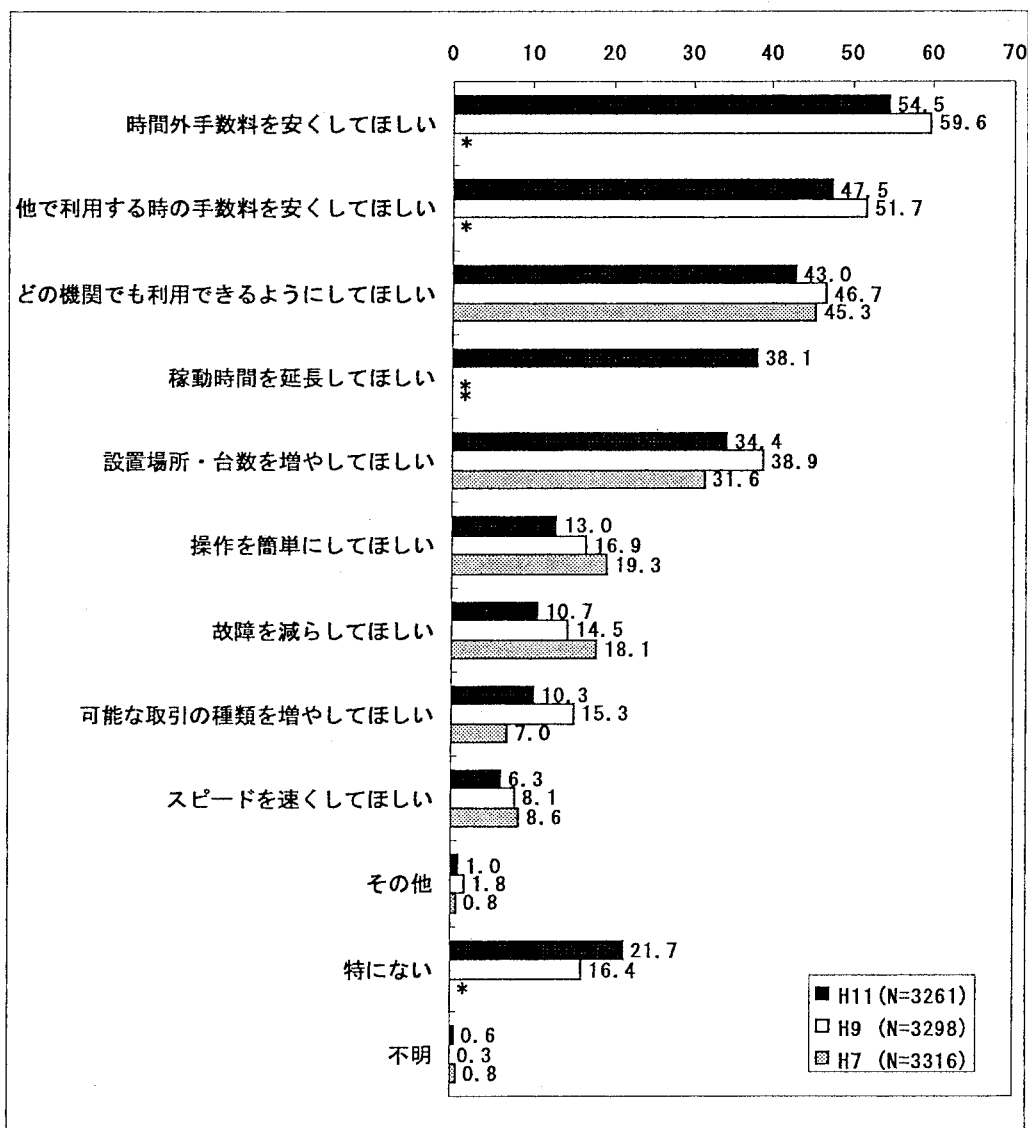


#### 4 ATM・CD に対する要望

ATM・CD に対する要望としては、「時間外手数料を安くしてほしい(54.5%)」、「他の機関で利用する時の手数料を安くしてほしい(47.5%)」が高くなっており、利用手数料に関する要望が最も多くなっている。

前回までの調査との比較では、操作面等 ATM・CD 機の性能に関する要望の割合が低下傾向にある。また、今回初めて調査した「稼動時間を延長してほしい(38.1%)」が「設置場所・台数を増やしてほしい(34.4%)」を上回っており、既存 ATM・CD の稼動時間に関するサービス向上を求める要望も強くなっている。

ATM・CD に対する要望(複数回答)



(注) \*は調査していないもの。平成7年度調査では「手数料を安くしてほしい(67.1%)」という回答がある。

7年度の「可能な取引を増やしてほしい」は「サービスメニューを増やしてほしい」という選択肢。

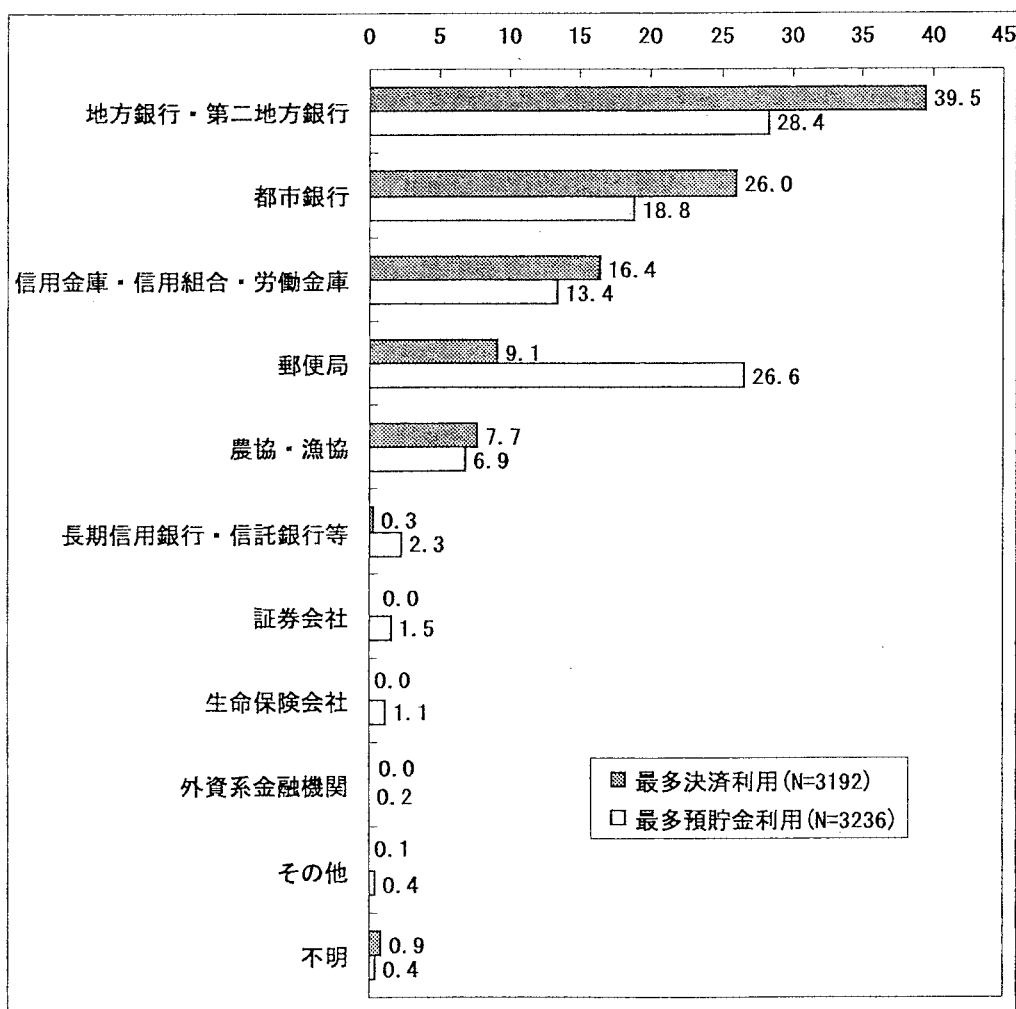
## Ⅱ 家計の金融サービス利用動向

### 取引別にみる利用金融機関

公共料金・クレジットカードなどの自動引落しや給与・年金の自動受取など決済口座としての利用金額が最も多い金融機関としては、「地方銀行・第二地方銀行(39.5%)」の回答割合が最も高く、次いで「都市銀行(26.0%)」、「信用金庫・信用組合・労働金庫(16.4%)」の順となっている。預貯金額(投資額)の最も多い金融機関としては、「地方銀行・第二地方銀行(28.4%)」の割合が最も高く、次いで「郵便局(26.6%)」、「都市銀行(18.8%)」の順となっている。

決済取引としての利用と貯蓄取引の利用を比較すると、「地方銀行・第二地方銀行」、「都市銀行」、「信用金庫・信用組合・労働金庫」、「農協・漁協」は決済取引としての利用が多く、その他の機関では貯蓄(投資)取引としての利用が多くなっている。

取引別の利用金融機関(単回答)



(注) 預貯金としての利用は「投資」も含む。

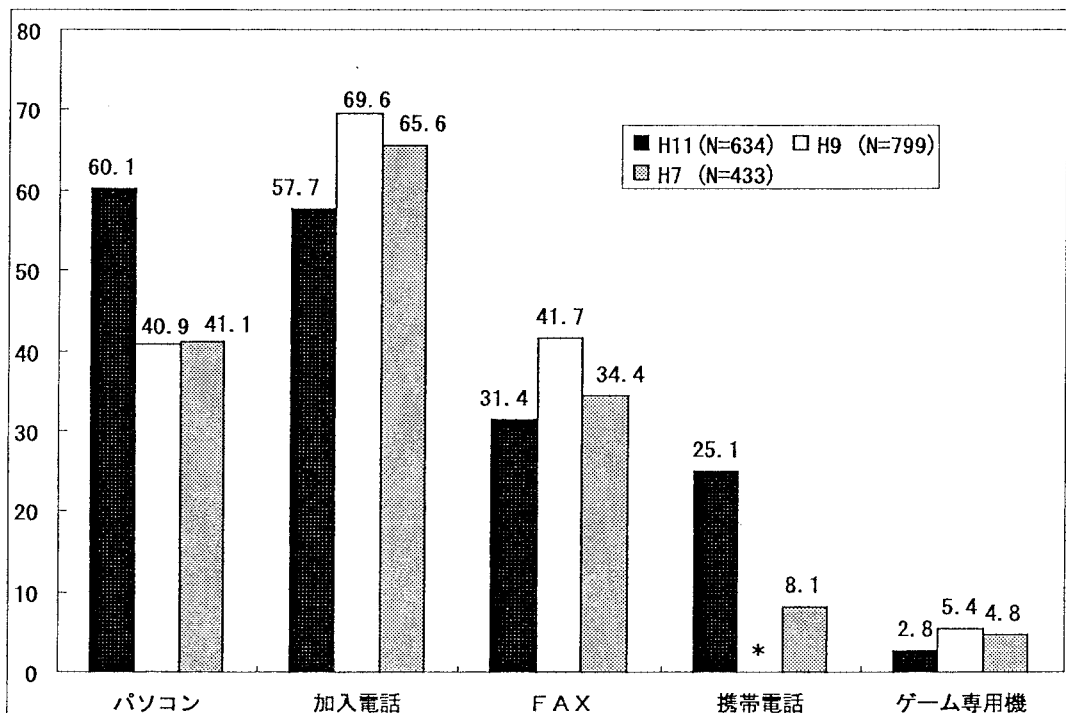
### Ⅲ これからの金融取引

#### 1 店舗外での金融サービス利用意向

金融機関の店舗以外の場所で金融取引を行いたいと考えている世帯が利用したい手段としては、「パソコン(インターネットを含む)(60.1%)」の割合が最も高く、次いで、「加入電話(57.7%)」、「FAX(31.4%)」の順となっている。

前回までの調査との比較では、「パソコン(インターネット)」の割合が大きく上昇しているほか、「携帯電話」が新たな金融取引手段として注目されていることがわかる。

店舗外での金融取引手段(複数回答)



(注)\*は調査していないもの。平成9年度、11年度調査のパソコンはインターネットを含む。

平成7年度、9年度の「加入電話」は「電話」として調査している。

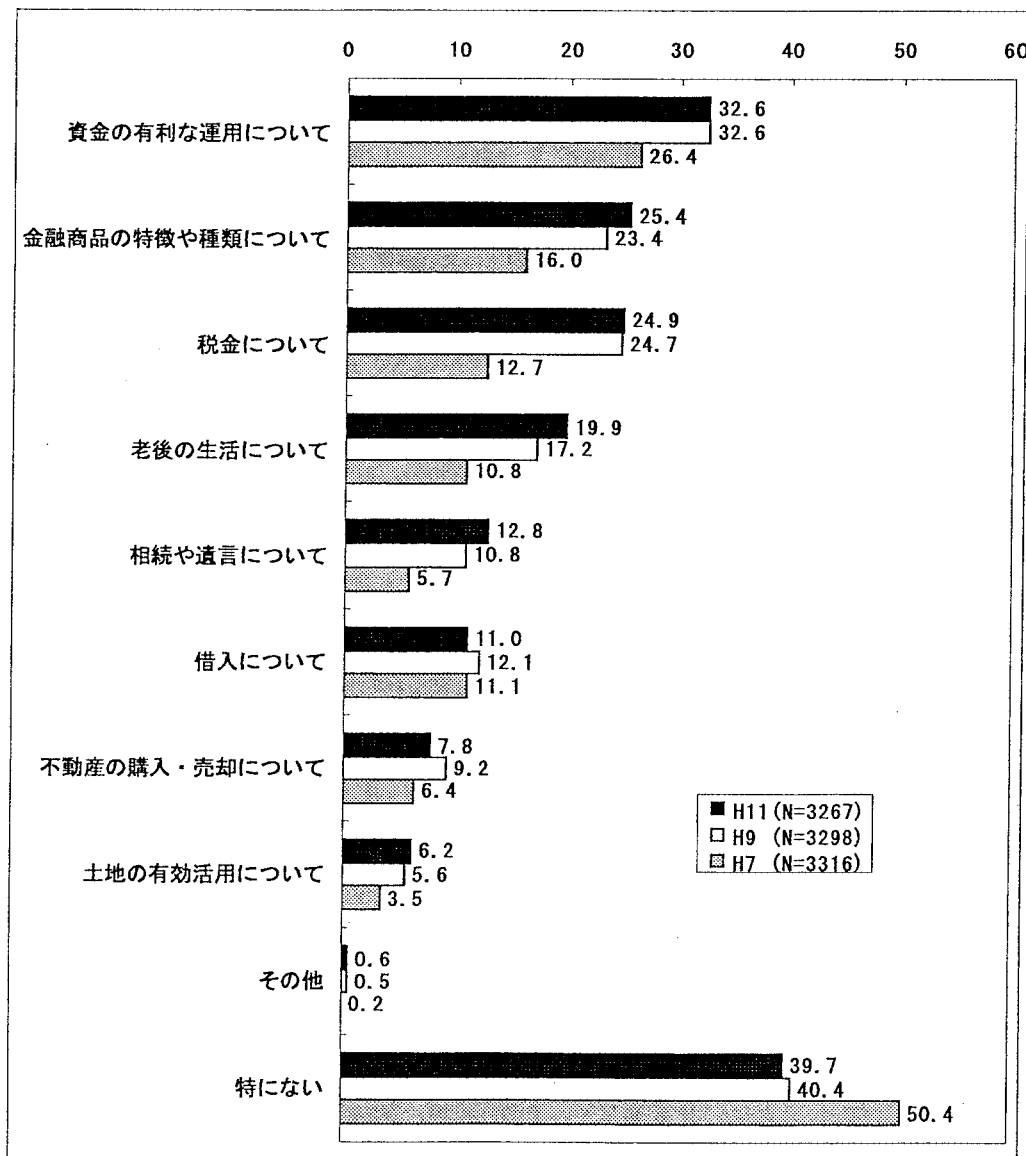
店舗外での金融取引に関する利用意向がある世帯を対象とした設問。

## 2 金融機関から教えてほしい情報

金融機関から教えてほしい情報としては、「資金の有利な運用について(32.6%)」の割合が最も高く、「金融商品の特徴や種類について(25.4%)」、「税金について(24.9%)」がこれに次いでいる。一方、「特にない」とする割合も39.7%と高くなっている。

前回までの調査との比較では、「借入について」、「不動産の購入・売却について」がわずかに減少したほかは概ね各項目で回答割合が増加している。

金融機関から教えてほしい情報(複数回答)



(注)平成7年度では、「金融機関に対して希望する相談の内容」として調査している。

## IV 統計表の表示等



## IV 統計表の表示等

### 1. 分類基準

#### 1 地域別

各都道府県を郵政局管内別に12区分

- (1) 北海道・・・北海道
- (2) 東北・・・宮城県、福島県、岩手県、青森県、山形県、秋田県
- (3) 関東・・・神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県、山梨県
- (4) 東京・・・東京都
- (5) 信越・・・長野県、新潟県
- (6) 北陸・・・石川県、福井県、富山県
- (7) 東海・・・愛知県、三重県、静岡県、岐阜県
- (8) 近畿・・・大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県
- (9) 中国・・・広島県、鳥取県、島根県、岡山県、山口県
- (10) 四国・・・愛媛県、徳島県、香川県、高知県
- (11) 九州・・・熊本県、長崎県、福岡県、佐賀県、大分県、宮崎県、鹿児島県
- (12) 沖縄・・・沖縄県

#### 2 都市規模別

- (1) 13大都市・・・札幌市、仙台市、千葉市、東京都区部、川崎市、横浜市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市
- (2) 東京都区部
- (3) 12大都市・・・13大都市から東京都区を除いたもの
- (4) 人口15万人以上の都市
- (5) 人口5万人以上の都市
- (6) 人口5万人未満の都市
- (7) 郡部

#### 3 世帯主年齢別

- (1) 29歳以下
- (2) 30～39歳
- (3) 40～49歳
- (4) 50～59歳
- (5) 60～69歳
- (6) 70歳以上

#### 4 民間企業従業員数

- (1) 1～4人
- (2) 5～29人
- (3) 30～99人
- (4) 100～499人
- (5) 500人以上

5 家族人数別

- (1) 2人
- (2) 3人
- (3) 4人
- (4) 5人
- (5) 6人以上

6 勤労家族人数別

- (1) 0人
- (2) 1人
- (3) 2人
- (4) 3人
- (5) 4人以上

7 世帯主年収別

世帯主・構成員の最近1年間における手取り収入金額（税抜き）により区分

- (1) 200万円未満
- (2) 300万円未満
- (3) 400万円未満
- (4) 500万円未満
- (5) 600万円未満
- (6) 700万円未満
- (7) 800万円未満
- (8) 1000万円未満
- (9) 1500万円未満
- (10) 2000万円未満
- (11) 2000万円以上

8 世帯資産残高

世帯金融資産残高により区分

- (1) 200万円未満
- (2) 400万円未満
- (3) 600万円未満
- (4) 800万円未満
- (5) 1000万円未満
- (6) 1500万円未満
- (7) 2000万円未満
- (8) 3000万円未満
- (9) 5000万円未満
- (10) 5000万円以上



## 2. 統計表利用上の注意

- 1 統計表の%は各行ごとの調査数を100%として算出したものである。
- 2 小数点以下第2位を四捨五入したため、内訳を合計したものは100%にならないことがある。

また、複数回答項目の構成比の合計は、100%を超える場合もある。

- 3 該当数がない場合は、「—」で示してある。
- 4 この調査の対象世帯数4500は、全国の状況を把握する上で十分な精度を得られる数であるが、各項目の細部（世帯主年齢別・世帯主年収別等）をみる場合には標本数が少なくなるため、精度が落ちることに留意されたい。

なお、信頼度を95%としたときの標本誤差は次頁表のとおりであるが、この表の利用方法を例示すると次のとおりである。

### (例)

問1の「自宅近くの金融機関」をみると、総回答世帯3,267のうち「郵便局」が自宅または職場等の近くにある世帯は95.3%、「地方銀行・第二地方銀行」が自宅または職場等の近くにある世帯は69.8%となっている。そこで、この標本でそれぞれの比率をもとにして、母集団での「郵便局」A及び「地方銀行」Bがどのような範囲にあるか推定する。

$n=3,267$ 、 $PA=95.3\%$ 、 $PB=69.8\%$ として次の表をみると、標本誤差はそれぞれ1.0%、2.3%である。したがって、母集団での比率A及びBの確率（信頼度95%）では次の範囲にあるといえる。

$$94.3 (\%) = 95.3 - 1.0 \leq A \leq 93.7 + 1.0 = 94.7 (\%)$$

$$67.5 (\%) = 69.8 - 2.3 \leq B \leq 69.8 + 2.3 = 72.1 (\%)$$

標本誤差早見表 (信頼度 95 % の場合)

n \ p	1%	5%	7%	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%	45%	50%
10	8.9	19.5	22.8	26.0	32.0	35.8	38.7	41.0	42.7	43.8	44.5	44.7
15	7.2	16.0	18.7	21.9	26.0	29.3	31.7	33.5	34.8	35.8	36.3	36.5
20	6.2	13.7	16.1	19.0	22.6	25.3	27.4	29.0	30.1	31.0	31.4	31.7
25	5.7	12.3	14.4	17.0	20.2	22.6	24.5	25.9	27.0	27.7	28.1	28.3
30	5.1	11.3	13.2	15.6	18.4	20.6	22.3	23.6	24.6	25.3	25.7	25.9
35	4.8	10.5	12.2	14.3	17.1	19.1	20.0	21.9	22.8	23.5	23.8	23.9
40	4.4	9.8	11.5	13.4	16.0	17.8	19.4	20.5	21.4	21.9	22.2	22.3
45	4.2	9.2	10.7	12.6	15.0	16.8	18.2	19.4	20.1	20.6	20.9	21.1
50	4.0	8.8	10.2	12.0	14.3	16.0	17.3	18.4	19.1	19.7	19.9	19.9
60	3.7	7.9	9.3	10.9	13.0	14.6	15.8	16.7	17.4	17.8	18.1	18.2
70	3.4	7.5	8.6	10.2	12.1	13.5	15.6	6.1	16.5	16.5	16.8	17.0
80	3.1	6.9	8.1	9.5	11.3	12.6	13.7	4.4	15.1	15.6	15.7	15.8
90	3.0	6.4	7.6	8.9	10.6	11.9	12.9	3.7	14.3	14.6	14.8	14.8
100	2.8	6.2	7.2	8.5	10.1	11.3	12.3	3.0	13.4	13.9	14.1	14.1
130	2.4	5.4	6.4	7.5	8.9	9.9	10.7	11.3	11.9	12.2	12.3	12.4
150	2.3	5.1	5.9	6.9	8.2	9.2	10.0	10.6	11.0	11.3	11.5	11.6
170	2.1	4.7	5.5	6.5	7.8	8.6	9.3	9.9	10.3	10.6	10.7	10.9
200	2.0	4.4	5.1	5.9	7.2	8.1	8.6	9.2	9.5	9.8	9.9	10.0
250	1.8	4.0	4.5	5.4	6.4	7.2	7.8	8.2	8.3	8.8	8.9	8.9
300	1.6	3.5	4.1	4.9	5.8	6.5	7.1	7.5	7.8	8.1	8.1	8.2
350	1.4	3.3	3.8	4.5	5.4	6.1	6.5	6.9	7.2	7.5	7.5	7.6
400	1.4	3.1	3.7	4.2	5.1	5.7	6.1	6.5	6.8	6.9	7.1	7.1
450	1.3	3.0	3.4	4.0	4.8	5.4	5.8	6.1	6.4	6.5	6.6	6.6
500	1.3	2.7	3.3	3.8	4.5	5.1	5.8	5.8	6.1	6.2	6.4	6.4
550	1.1	2.7	3.1	3.7	4.2	4.8	5.2	5.5	5.8	5.9	5.9	6.1
600	1.1	2.5	3.0	3.4	4.1	4.7	4.9	5.2	5.5	5.7	5.8	5.9
650	1.1	2.4	2.8	3.4	4.0	4.2	4.8	5.1	5.2	5.4	5.5	5.5
700	1.1	2.3	2.7	3.3	3.8	4.1	4.7	4.9	5.1	5.2	5.4	5.4
750	1.0	2.3	2.7	3.1	3.7	4.0	4.5	4.7	5.0	5.1	5.1	5.2
800	1.0	2.1	2.5	3.0	3.5	4.0	4.4	4.5	4.8	4.9	4.9	5.0
850	1.0	2.1	2.5	3.0	3.5	3.8	4.2	4.4	4.7	4.8	4.8	4.8
900	1.0	2.1	2.4	2.8	3.4	3.8	4.1	4.4	4.5	4.7	4.7	4.7
950	0.8	2.0	2.4	2.7	3.3	3.7	4.0	4.2	4.4	4.5	4.5	4.5
1000	0.8	2.0	2.3	2.7	3.3	3.5	3.8	4.1	4.2	4.4	4.5	4.5
1300	0.7	1.7	2.0	2.4	2.8	3.1	3.4	3.5	3.8	3.8	4.0	4.0
1500	0.7	1.6	1.8	2.3	2.5	3.0	3.1	3.4	3.5	3.5	3.7	3.7
1700	0.7	1.4	1.7	2.1	2.4	2.7	3.0	3.1	3.3	3.4	3.4	3.4
2000	0.6	1.4	1.6	1.8	2.3	2.5	2.7	3.0	3.0	3.1	3.1	3.1
2500	0.6	1.3	1.4	1.7	2.0	2.3	2.4	2.5	2.7	2.8	2.8	2.8
3000	0.6	1.1	1.3	1.6	1.8	2.1	2.3	2.4	2.4	2.5	2.5	2.5
3500	0.4	1.0	1.3	1.4	1.7	2.0	2.1	2.3	2.3	2.4	2.4	2.4
4000	0.4	1.0	1.1	1.4	1.6	1.8	2.0	2.1	2.1	2.3	2.3	2.3
4500	0.4	1.0	1.1	1.3	1.6	1.7	1.8	2.0	2.0	2.1	2.1	2.1
n \ p	99%	95%	93%	90%	85%	80%	75%	70%	65%	60%	55%	50%

## V 統計表







◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎	【 表 ( TITLE ) 題 】	◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎ ( 表頭項目 )	★PAGE No.
75	付問4 その際に利用したことのある送金手段をすべて選んでください。(〇はいくつでも)		226
76	付問5 その際に利用する金融機関の中で最も利用回数の多い金融機関を選んでください。(〇は1つ)		227
77	付問6 海外への送金の頻度(回数)は、平均するとどのぐらいですか。(〇は1つ)		228
78	付問7 国内、海外送金で利用する金融機関を選択する基準について、次の4つの中からそれぞれ最も重視する要素を選んでください。(番号はそれぞれ1つずつ)		229
79	付問7 国内、海外送金で利用する金融機関を選択する基準について、次の4つの中からそれぞれ最も重視する要素を選んでください。(番号はそれぞれ1つずつ)		230
80	問13 公共料金(電気、ガス、水道、電話、NHK)の支払い方法として、ご利用されているものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)		231
81	問14 金融機関などからの借入について、現在利用しているものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)		232
82	付問1 借入先金融機関の決定にあたっては何を重視しましたか。あてはまるものを選んでください。(〇は1つ)		234
83	問15 生命保険に関する取引についておたずねします(年金保険商品は除いてお考えください)。現在、ご家族で生命保険に加入している方はいらっしゃいますか。複数のご家族が加入している場合には、あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)		235
84	付問1 (1) 加入している金融機関はどこですか。(〇はいくつでも)		236
85	(2) 民間の生命保険会社に加入している場合には加入社数を枠内に記入してください。		237
86	付問2 失礼ですが、現在お家で加入されている民間の生命保険の保険金額(保険金額)を合計すると、いくらくらいになりますか(会社単位で加入している団体保険を含みます)。なお、ここでは「保険金額」とは普通死亡時の保険金額であり、災害死亡時の場合に割り増しされて支払われる保険金額を除きます。(〇は1つ)		238
87	問16 電話、FAX、パソコン(インターネット)等を利用して、自宅で持ち高照会・口座振替・振込などの金融取引ができる「ホームバンキング・サービス」をご存じですか。(〇は1つ)		239
88	付問1 お家でホームバンキングに使用している端末はどれですか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)		240
89	付問2 ホームバンキングを1カ月あたり平均何回ご利用しますか。(〇は1つ)		241
90	付問3 今後ホームバンキングを利用したいと思いますか。(〇は1つ)		242
91	付問4 ホームバンキングに使用したい端末はどれですか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)		243
92	付問5 ホームバンキングで利用したいサービスについて、あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)		244
93	問17 現在、あなたとご家族全体で保有しているクレジットカードは何枚ですか。		245
94	付問1 このうち、あなたとご家族が財布に入れて持ち歩く等、通常利用しているクレジットカードは何枚ですか。		246
95	問18 現在、あなたとご家族全体で保有している金融機関のキャッシュカードは何枚ですか。		247
96	付問1 このうち、あなたとご家族が財布に入れて持ち歩く等、通常利用しているキャッシュカードは何枚ですか。		248
97	付問2 買い物の際に、キャッシュカードを使い、代金をオンラインで預貯金口座から利用店の口座に振り替えることにより、キャッシュレスショッピングができる「デビットカード・サービス」を利用したことがありますか。(〇は1つ)		249
98	付問3 デビットカードサービスを利用した場所をすべて選んでください。(〇はいくつでも)		250
99	付問4 デビットカードサービスの1か月の利用頻度(回数)は、平均するとどのぐらいですか。(〇は1つ)		251
100	付問5 現在のデビットカードサービスについてどのようにお考えですか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)		252
101	付問6 デビットカード・サービスが利用できる店舗において、キャッシュカードにより店舗のレジで現金を受け取るサービス(キャッシュアウト)が利用できるようになった場合利用したいですか。(〇は1つ)		253
102	問19 ICカードに電子化した「現金」を組み込み、通常の財布と同じ感覚で使うことができる電子マネーが、イギリスやアメリカで実用化されつつあるほか、国内においても実験が行われていますが、ご存じですか。(〇は1つ)		254
103	付問1 今後、電子マネーを利用したいと思いますか。(〇は1つ)		255
104	付問2 電子マネーを利用しようと思わない理由について、あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)		256
105	問20 現在、物品・サービス購入の際の決済手段として利用しているものを選んでください。(〇はいくつでも)		257
106	付問1 では、これらの支払い手段のうち、今後、最も利用したいと思うものを1つだけ選んでください。問20の答えと重複しても構いません。(〇は1つ)		258
107	問21 わが国では、自由で効率的な金融市場を構築するための金融システム改革、通称「日本版金融ビッグバン」の一環として、平成10年度から外国為替管理法の改正、投資信託の銀行窓口での販売解禁等が実施されています。この「日本版金融ビッグバン」の動きをご存知でしたか。また、金融機関との取引を変えるなどの行動をされていますか。(〇は1つ)		259
108	付問1 「金融ビッグバン」で起る可能性があることについておたずねします。(a)から(e)の各々について、あてはまるものを1つずつお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ) (a) 多くの外資系金融機関が日本でサービスを展開するようになる		260
109	付問1 「金融ビッグバン」で起る可能性があることについておたずねします。(a)から(e)の各々について、あてはまるものを1つずつお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ) (b) 銀行、証券、信託など業態間で合併、業務提携の動きが活発化する		261
110	付問1 「金融ビッグバン」で起る可能性があることについておたずねします。(a)から(e)の各々について、あてはまるものを1つずつお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ) (c) 各種取引手数料が自由化される		262
111	付問1 「金融ビッグバン」で起る可能性があることについておたずねします。(a)から(e)の各々について、あてはまるものを1つずつお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ) (d) 製造業、小売業など異業種の金融業への参入が起る		263
112	付問1 「金融ビッグバン」で起る可能性があることについておたずねします。(a)から(e)の各々について、あてはまるものを1つずつお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ) (e) 店舗、従業員などとの金融機関との業務の効率化が進化する		264
113	問22 わが国では、現在のところ民間金融機関が破たんした際の預金は全額保護されていますが、平成13年4月以降は1金融機関ごとに預金者1人当たり、元本1000万円までに限られることになっています(いわゆるペイオフ解禁)が、このことをご存知ですか。また、預金が1000万円以上ある場合でも、1000万円を超える部分について破たん金融機関の残余財産から払い戻しが受けられることをご存知ですか。 (1) ペイオフの解禁 (〇は1つ)		265

***** 【 目 ( CONTENT ) 次 】 ***** [ x 表 PAGE No 7 ]		
☆集計表№	◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 【 表 ( TITLE ) 題 】 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ ( 表頭項目 ) ◇ ★PAGE No	
114	問2 2 わが国では、現在のところ民間金融機関が破たんした際の預金は全額保護されていますが、平成13年4月以降は1金融機関ごとに預金者1人当たり、元本1000万円までに限られることになっています(いわゆるペイオフ解禁)が、このことをご存知ですか。また、預金が1000万円以上ある場合でも、1000万円を超える部分について破たん金融機関の残余財産から払い戻しが受けられることをご存知ですか。 (2) 残余財産からの払い戻し(○は1つ)	266
115	付問1 ペイオフ解禁に備えて行ったこと、または予定していることを次の中から選んでください。(○はいくつでも)	267
116	付問2 ペイオフ解禁に備えて預け替えた預け先、または預け替えようとしている預け先を次の中から選んでください。(○はいくつでも)	268
117	問2 3 金融機関から教えてほしい情報について、あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)	270
118	F 1 このアンケートにお答えいただいた方は次のどなたですか。(○は1つ)	272
119	F 2 世帯主の方(生計の中心となっている方)について、性別と職業をお答えください。(○は1つ) (1) 性別	273
120	(2) 世帯主の方(生計の中心となっている方)について、職業をお答えください。(○は1つ)	274
121	付問1 生計を共にしておられるご家族の中で農林漁業に従事している方はおられますか。(○は1つ)	275
122	付問2 お勤めの民間企業の従業員数を次の中から選んでください。(○は1つ)	276
123	付問3 お勤めの民間企業の業種を次の中から選んでください。(○は1つ)	277
124	F 3 世帯主の方の満年齢は、おいくつですか。	278
125	F 4 ご家族(同居、別居にかかわらず、家計を同じくしているご家族)の人数と、そのうち職業(パートを含む)を持っている方の人数を、それぞれにご記入ください。なお、いずれも世帯主ご本人を含みます。 (1) ご家族	279
126	F 4 ご家族(同居、別居にかかわらず、家計を同じくしているご家族)の人数と、そのうち職業(パートを含む)を持っている方の人数を、それぞれにご記入ください。なお、いずれも世帯主ご本人を含みます。 (2) 職業を持っている方	280
127	F 5 失礼ですが、ご家族の税金を除いた手取り年収(年金、金利収入等を含みます)は、合計でいくらくらいですか。(○は1つ)	281
128	F 6 失礼ですが、お宅で現在お持ちになっている貯蓄総額はいくらくらいですか。(○は1つ)	282
129	F 7 失礼ですが、金融機関、知人等から借りているお金の総額(現在の残高)はおいくらですか。(○は1つ)	283
130	F 8 現在どのような住宅にお住まいですか。(○は1つ)	284





問1 自宅の近く(自家用車、自転車、徒歩等、日常利用する交通手段で10分以内)にある金融機関(支店、支社、出張所、自動機械のみの無人店舗を含む)をすべて選んでください。(〇はいくつても)

Table with 17 columns: 総数, 都市銀行, 地方銀行, 長期信用銀行, 外資系金融機関, 信用金庫, 郵便局, 農協・漁協, 証券会社, 生命保険会社, 損害保険会社, 消費者金融, 金融機関の自動機械, その他, 自宅の近くにはない. Rows include: 総数, 郵政局別, 都市規模別, F2(1)世帯主性別, F3世帯主年齢別, F2(2)付帯2 民間企業従業員数別, F4(1)家族人数別, F4(2)勤労家族人数別, F5世帯年収別, F6貯蓄総額別, F7借入総額別, F8住居形態別.

問1 ご自宅の近く（自家用車、自転車、徒歩等、日帯利用する交通手段で10分以内）にある金融機関（支店、支社、出張所、自動機械のみの無人店舗を含む）をすべて選んでください。（○はいくつでも）

	回答計
※※※ 【総 数】 ※※※	430.0
郵政局別	
北海道	400.6
東北	394.7
関東	446.9
東海	515.5
信越	409.7
北陸	455.1
東海	405.7
近畿	447.0
中国	425.0
四国	400.0
九州	374.8
沖縄	406.7
都市規模別	
13大都市	453.2
東京都区部	516.2
12大都市	427.2
人口15万以上の市	447.3
人口5万以上の市	451.2
人口5万未満の市	425.9
町村	364.9
F2(1) 世帯主性別	
男性	431.0
女性	410.1
F3 世帯主年齢別	
29歳以下	419.0
30～39歳	471.5
40～49歳	446.6
50～59歳	453.9
60～69歳	387.5
70歳以上	361.7
F2(2) 付問2 民間企業従業員数別	
1～4人	444.7
5～29人	431.8
30～99人	446.0
100人～499人	459.5
500人以上	468.3
不明	409.5
F4(1) 家族人数別	
2人	380.2
3人	452.1
4人	453.9
5人	453.6
6人以上	417.2
不明	460.0
F4(2) 勤労家族人数別	
0人	355.7
1人	435.4
2人	440.1
3人	447.3
4人以上	447.4
不明	373.5
F5 世帯年収別	
200万円未満	316.4
200万円以上～300万円未満	379.4
300万円以上～400万円未満	409.1
400万円以上～500万円未満	438.0
500万円以上～600万円未満	451.1
600万円以上～700万円未満	451.3
700万円以上～800万円未満	451.6
800万円以上～1000万円未満	486.3
1000万円以上～1500万円未満	478.1
1500万円以上～2000万円未満	434.0
2000万円以上	482.4
不明	434.9
F6 貯蓄総額別	
200万円未満	411.1
200万円以上～400万円未満	435.3
400万円以上～600万円未満	413.0
600万円以上～800万円未満	445.4
800万円以上～1000万円未満	445.7
1000万円以上～1500万円未満	456.5
1500万円以上～2000万円未満	475.4
2000万円以上～3000万円未満	443.7
3000万円以上～5000万円未満	479.1
5000万円以上	497.9
不明	418.3
F7 借入総額別	
借りていない	416.7
50万円未満	433.3
50～100万円未満	412.4
100～300万円未満	425.0
300～1000万円未満	453.3
1000～2000万円未満	457.7
2000～5000万円未満	480.5
5000万円以上	496.8
不明	432.1
F8 住居形態別	
自己所有住宅（家族名義を含む）	427.0
民間の賃貸住宅	467.5
公営の賃貸住宅（公団を含む）	392.5
社宅、官舎等	483.7
その他	525.0
不明	363.6

付問1 勤務先の近く(自家用車、自転車、徒歩等、日常利用する交通手段で10分以内)にある金融機関(支店、支社、出張所、自動機械のみの無人店舗を含む)をすべて選んでください。(〇はいくつでも)

Table with columns: 総数, 都市銀行, 地方銀行, 長期信用銀行, 外資系金融機関, 信用金庫, 郵便局, 農協・漁協, 証券会社, 生命保険会社, 損害保険会社, 消費者金融会社, 金融機関の共同, その他, 勤務先には近い. Rows include: 郵政局別 (北海道, 東北, 関東, etc.), 都市規模別 (13大都市, 東京都区部, etc.), F2(1) 世帯主性別, F3 世帯主年齢別, F2(2) 付問2 民間企業従業員数別, F4(1) 家族人数別, F4(2) 勤労家族人数別, F5 世帯年収別, F6 貯蓄総額別, F7 借入総額別, F8 住居形態別.

付問1 勤務先の近く(自家用車、自転車、徒歩等、日常利用する交通手段で10分以内)にある金融機関(支店、支社、出張所、自動機械のみの無人店舗を含む)をすべて選んでください。(〇はい、×でも)

	不明	回答計
※※※ 【総 数】 ※※※	38.4	318.4
都道府県別		
北海道	30.9	313.0
東北	32.0	303.3
関東	44.4	311.8
東海	41.8	368.4
近畿	41.6	275.2
中国	34.6	342.3
四国	36.4	309.1
九州	31.6	341.1
沖縄	39.6	307.8
不明	37.5	350.0
合計	43.9	280.5
不明	23.3	346.7
都市規模別		
13大都市	37.8	342.0
東京都区部	43.4	370.7
12大都市	35.6	330.1
人口15万以上の市	33.3	347.3
人口5万以上の市	39.4	302.5
人口5万未満の市	43.3	300.5
町村	43.6	276.4
F2(1) 世帯主性別		
男性	38.2	319.2
女性	41.5	303.8
F3 世帯主年齢別		
29歳以下	23.1	328.1
30~39歳	18.6	414.1
40~49歳	21.2	397.7
50~59歳	29.5	353.0
60~69歳	63.0	208.3
70歳以上	82.3	141.6
F2(2) 付問2 民間企業従業員数別		
1~4人	22.4	349.4
5~29人	13.7	373.8
30~99人	11.7	420.1
100人~499人	14.1	432.8
500人以上	15.6	426.1
不明	28.6	311.9
F4(1) 家族人数別		
2人	57.7	244.7
3人	34.6	339.0
4人	28.7	355.6
5人以上	28.1	353.1
不明	36.7	317.4
F4(2) 勤労家族人数別		
0人	92.2	128.4
1人	37.2	312.0
2人	24.4	378.1
3人	34.0	339.4
4人以上	41.1	294.8
不明	71.1	202.4
F5 世帯年収別		
200万円未満	65.0	182.7
200万円以上~300万円未満	57.1	237.4
300万円以上~400万円未満	44.5	265.9
400万円以上~500万円未満	32.9	326.6
500万円以上~600万円未満	31.7	342.3
600万円以上~700万円未満	30.8	335.5
700万円以上~800万円未満	24.8	389.8
800万円以上~1000万円未満	29.5	404.6
1000万円以上~1500万円未満	31.3	413.4
1500万円以上~2000万円未満	35.8	356.6
2000万円以上	35.3	400.0
不明	37.5	313.2
F6 貯蓄総額別		
200万円未満	30.8	320.0
200万円以上~400万円未満	34.6	343.2
400万円以上~600万円未満	36.9	311.6
600万円以上~800万円未満	38.0	374.2
800万円以上~1000万円未満	38.7	345.7
1000万円以上~1500万円未満	44.2	322.3
1500万円以上~2000万円未満	47.9	285.9
2000万円以上~3000万円未満	50.7	281.7
3000万円以上~5000万円未満	62.8	279.1
5000万円以上	48.9	302.1
不明	41.1	301.1
F7 借入総額別		
借りていない	46.3	280.8
500万円未満	21.3	342.6
500~1000万円未満	32.2	295.9
1000~3000万円未満	34.5	350.5
3000~10000万円未満	27.8	382.7
10000~20000万円未満	23.8	405.7
20000~50000万円未満	25.0	391.0
50000万円以上	48.4	380.6
不明	34.4	328.2
F8 住居形態別		
自己所有住宅(家族名義を含む)	42.3	301.8
民間の賃貸住宅	23.5	375.8
公営の賃貸住宅(公団を含む)	33.2	319.1
社宅、官舎等	23.3	497.7
その他	16.7	441.7
不明	27.3	327.3